

ネットワークボード

あの日から4年…。「沿岸部の障がい者の死亡率は住民全体の死亡率の2倍だった」という衝撃的なデータは、2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障がいのある人々に何が起きたのかを私たちに突き付けます。障がいがあるがゆえに、津波から身を守れず、命を失っていった人たち、必要な情報が得られず、不安の中で過ごす人たち、避難所や仮設住宅の生活で彼らを待ち構えていた新たな困難…。今回ご紹介するDVDでは、マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障がい者を取り巻くさまざまな課題や問題点を浮かび上がらせています。今号つうしん「マレーシア研修報告」での“不利が重なる人たち”という中澤さんの言葉が思い出されました。諦めなければいけない命などひとつもないはずなのに…。

『逃げ遅れる人々』

東日本大震災と障害者』

監督：飯田基晴 (2012年/日本語/74分/
ドキュメンタリー/日本語字幕)
製作：東北関東大震災障害者救援本部



■DVD パッケージ発売中!

一般価格：3,000円/団体・ライブラリー
価格(上映権付き)10,000円

*自主上映会については、下記まで問い合わせ下さい。

■連絡先：東北関東大震災障害者救援本部
〒192-0046 八王子市明神町 4-11-11-1F
Tel:042-631-6620 Fax:042-660-7746
E-mail:9enhonbu@gmail.com
作品 URL:<http://www.j-il.jp/movie/>

こんにちは 理事長です



最近身近で葬儀が立て続けにあり、「生き方」について改めて考えるようになりました。若い頃はそのようなことは思いもしませんでした。これからの生き方をどう仕事に反映させていくか、考えさせられます。

今月号つうしん「マレーシア研修報告」の中に、「真の豊かさ」について触れられていますが、生き方とは正に「人生の豊かさの追求」のように感じます。自分を取り巻く自然環境や人間関係において、安らぎや安心の存在が豊かさにつながるのか、仕事に対するやりがいや責任、自分の役割、人との関係性に豊かさを求めるのか、或いは、あらゆるストレスを解消するための余暇に豊かさを求めるのか。豊かさの追求は千差万別ですが、「真の豊かさ」は、究極のところ、「自分自身が素直に取り組めるもの」の存在が鍵のような気がします。

自分の仕事に素直に取り組めているか、我々福祉の仕事に携わる者として、障がいのある人たちとどう向き合い、どう生きていくか、スタッフ一人ひとりの生き方が問われます。

認定NPO法人ぱれっと 理事長 **相馬宏昭**